

第3節 心を耕す文化空間、スポーツライフを実現するスポーツ空間

県民が心豊かに日々の生活を送るため、地域に根ざした文化の果たす役割は大きいものがあり、他方、県民が健康で健やかな生活を送るため、地域に根ざしたスポーツ活動の果たす役割は極めて大きいものがあります。

このため、様々な文化に触れる機会、参加する機会、発表する機会を県民に提供するため、その中核となり心を耕す文化的な空間づくりに努めるとともに、これまで受け継がれてきている文化財を次代に伝えるための文化的な空間づくりに努めます。また、県民がスポーツ活動に親しめる場の整備や体育・スポーツ団体の拠点施設としてのスポーツトレーニングセンター等の整備を検討するなど、生涯にわたるスポーツライフを実現するスポーツ空間の創出に努めます。

(3) 心を耕す文化空間、
スポーツライフを実現
するスポーツ空間

文化活動の発表と参加の場の整備
文化財の保存と公開の場の整備
県立美術館・博物館の整備・充実
スポーツ空間の創出

項 目	具体的施策の方向
文化活動の発表と参加の場の整備	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 県文化センターの整備充実 本県の文化振興の拠点である県文化センターについて、利用者の要望等に十分配慮しながら施設・設備の整備・充実を図るとともに、施設の経年劣化を勘案しながら、新文化会館設置のための検討を進めます。
文化財の保存と公開の場の整備	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 文化財センター白河館(愛称「まほろん」)の整備・利活用の推進 文化財の収蔵保管・展示・公開及び無形の文化財の調査や出土文化財の保存処理等、文化財の調査研究の拠点施設として整備し、学校教育機関等とも連携して利活用を促進します。 ▶ 文化財センター安達館(仮称)の整備推進 埋蔵文化財の発掘調査や埋蔵文化財調査に関するボランティア運営などの拠点施設として整備を推進します。 ▶ 県歴史資料館の在り方の検討 県歴史資料館の設立当初の目的や業務の現状を踏まえ、当館をめぐる諸問題と今後のあるべき方向等について検討します。
県立美術館・博物館の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 県立美術館の整備・充実 本県美術振興の中心施設である県立美術館について、美術作品の収集と調査研究を計画的に推進し、常設展・企画展・教育普及事業の充実に努めます。 ▶ 県立博物館リニューアル事業の推進 県立博物館について、県民の多様化する要望や学術研究の進展に対応するため、最新の展示技術や研究成果を踏まえた常設展示のリニューアルを図ります。 ▶ 利用者のニーズに応える施設運営の推進 完全学校週5日制の実施や県民の利用ニーズに対応するため、開館時間の弾力化などの利用者の視点に立った施設運営に努めます。

	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 時代の変化に対応した展示方法の推進 高度情報通信社会の到来に対応し、博物館等の学習資源のデータベース化やデジタル・アーカイブ化など、時代の変化に対応した情報提供方法の構築に努めることにより、バーチャルミュージアムについての検討を進めます。
スポーツ空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 総合型地域スポーツクラブの育成促進(再掲) 市町村生涯スポーツ担当者と組織する地区別連絡協議会を充実するとともに、地域住民に対する啓発活動を促進し、だれもが生涯の各時期にわたりスポーツに親しむことができる住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成に努めます。 ▶ 広域スポーツセンターの整備(再掲) 総合型地域スポーツクラブの育成・定着を促進する広域スポーツセンターを充実し、クラブ設置の中心となるクラブマネージャーの育成やクラブの創設・運営についての支援に努めます。 ▶ スポーツトレーニングセンター等の整備 スポーツ医・科学の研究を推進する拠点や武道・水泳等の競技振興の拠点となる施設の整備の在り方について検討します。 ▶ 各市町村における総合型地域スポーツクラブのクラブハウス整備促進 学校の余裕教室や公共施設の活用により、スポーツクラブの活動拠点となるクラブハウスの整備を促進します。

〔 請 注 〕 (第3節 心を耕す文化空間、スポーツライフを実現するスポーツ空間)

デジタル・アーカイブ化 (digital archive)	有形・無形の文化資産をデジタル映像の形で記録し、その情報をデータベース化して保存し、随時、閲覧、情報発信できるようにすること。アーカイブは、記録保管所・公文書保管所という意味。
----------------------------------	--

福島県公共社会体育・スポーツ施設調査 (スポーツグループ)

施設の種類の		現有数	規格等	備 考	
日常生活圏域の公共社会体育・スポーツ施設数	多目的広場	304			
	多目的コート	テニス	総数 128 面数 548 全天 386	コート面積2200㎡程度テニスゲートボール等ができるコート	
		ゲートボール	総数 143 屋内 45		
			地域体育館		
	柔剣道場	40	床300㎡程度		
プール	総数	84	50m、25m	他に幼児用57レジャー10 飛び込み2 総数159	
	屋内	23	25m		
	温水	14	温水が望ましい		

公共の主要野外活動施設数	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
キャンプ場	13(2)	12(4)	9(1)	19(7)	9(5)	14(5)	10(2)	86(26)
ウォーキングコース	9	14	11	30	4	3	1	72
オリエンテーリング	2	0	2	2	1	2	1	10
サイクリングコース	3	3	3	5	1	0	2	17
ランニングコース	4	1	2	1	0	1	1	10
冒険遊具	1	5	1	5	0	0	3	15
湖水・海水浴場	0	0	0	4	0	7	9	20
スキー場	0	1	0	8	5	0	0	14

() 書き内数は、オートキャンプ場を示す。